

令和2年度の市政運営について

■まちづくりの3本柱

強靱なまち
きょうじん
 ・地域防災力のさらなる向上 など

富田地区
 ・西部の都市拠点にふさわしいまちづくり など

歴史の継承
 ・安満遺跡公園の全面開園
 ・歴史遺産を次世代に継承 など

■市民福祉の向上につながる施策

都市機能 子育て・教育 福祉・医療 などの施策を充実



「みらいのための経営革新」に向けた改革方針

歳入改革、歳出改革、公営企業・外郭団体改革
 を着実に推進し、健全財政を維持

主な取り組み

- 市有資産の積極的な売却・貸し付け
- 民間活力の導入・拡大
- 職員の働き方改革で生産性向上
- 外郭団体の統廃合

「輝く」未来を創生

他市にない「常識外」の構想で 施策展開を追求

将棋の棋士・谷川浩司九段は、著書「構想力」の中で次のように述べておられます。「常識外の手を構想する力とは、言い換えれば、新しい未来を切り開くための力だと言えらる。ただし、常識外の手を構想するためには、常識を知っておかなければいけない」。

つまり、新しい未来を切り開き、次の時代を築いていくためには、常識を踏まえた上で、常識外の構想が必要であると述べておられます。

行政の責務は市民の生活を守ることであり、インフラ整備、防災、環境、福祉、医療など、市民生活の根幹に関わる業務については、引き続き、着実かつ地道に取り組んでいかなければなりません。これらの業務はまさに、常識に従って進めていかなければならない業務です。

しかし、一方では、各地方自治体は厳しい行財政運営を

強いられており、さらには都市間競争を余儀なくされている状況にあり、本市も例外ではありません。

このような中で本市の存在感を維持・向上させ、定住人口、交流人口の増加を引き続き図っていくためには、これまでの行政の常識にとられない、まさに「常識外」の構想による行政運営・施策展開が求められています。

私は、20年先、30年先の未来を見据え、本市の輝く未来のため、行政本来の責務を忠実に果たし、業務を着実・地道に進めるとともに、さらに、他市の行政の発想にはない「常識外」の構想による行政運営・施策展開を引き続き追求していきたいと考えています。そして、議員並びに市民の皆さまと、共にまちづくりの成功を喜び合い、共に我がまち高槻を誇りに思える行政運営・施策展開に全力で取り組んでまいります。

施政方針を表明



施政方針大綱を表明する濱田剛史市長(2月27日)

一人一人が幸せになるまちへ

濱田剛史市長は、令和2年度の市政運営の方針や重点施策などをまとめた施政方針大綱を発表しました。

濱田市長は、市民福祉のさらなる向上と将来にわたり誰もが幸せを実感できるまちの実現を目指し、「みらい創生」に向けたまちづくりに全力で取り組みと決意を述べました。

今号では施政方針大綱の概要をお知らせします。なお、施政方針大綱の全文は、行政資料コーナー(市役所本館1階18番)で閲覧できるほか、市ホームページに掲載しています。

私は、市長就任以降、誰もが住み慣れた地域でいきいきと、安全で安心して暮らすため、都市機能の充実をはじめ、子育て・教育、福祉・医療の充実などの施策を着実に進めてまいりました。

令和2年度も、自然災害の

脅威から市民を守る「強靱(きょうじん)なまちづくり」、富田地区のまちづくり、「高槻の歴史を継承するまちづくり」を3本柱とし、市民福祉の向上につながる施策の充実を引き続き、積極的に取り組んでまいります(11ページ図)。

未来を見据えた施策実現のため 行財政運営に取り組む

市は今後、生産年齢人口の減少、高齢化の進展、公共施設の老朽化などにより、非常に厳しい財政運営が想定されます。このような状況でも、市民の安全・安心を確保するための強靱なまちづくりに加え、子育て支援や教育の充実、高齢者の健康づくりなど、20年後、30年後の本市の「みらい創生」に向け財政面の充実を図る必要があります。

そのためには、「みらいのための経営革新」に向けた改革

令和2年度の予算案

一般会計	1,273億9,544万7,000円
特別会計	1,099億2,262万7,000円
合わせて	2,373億1,807万4,000円

※一般会計は、対前年度6月補正後の予算比で1.1%増
 ※詳しい予算内容は本誌5月号に掲載



地域住民主体の避難所運営

新 災害時の停電対策や避難所との
情報共有体制を確保

**公共施設のブロック塀を計画的に撤去、
民間所有ブロック塀の撤去を支援**

セーフティプロモーションスクール(SPS)認証取得に向けた取り組みを推進

通学路の点検強化により、児童の安全を確保



市民避難訓練で避難行動の連携を強化



大人も子どもも共に助け合う

安全・安心のまちづくり



大規模災害を想定した地域防災訓練



地域防災力の向上を図る

新 青色防犯パトロール車への
ドライブレコーダー設置補助制度を創設

**「総合雨水対策アクションプラン」に基づき
施設整備を推進**

(JR高槻駅北駅前広場「雨水貯留施設」実施設計、
西大冠小学校「雨水流出抑制施設」整備)

拡 聴覚障がい者などからの
119番通報への対応を強化

(「Net119緊急通報システム」を導入)



地域の見守り力高める青色防犯パトロール車

「国土強靱化地域計画」に基づき施策を推進

新 「コミュニティタイムライン」策定に向けた
地域の取り組みを支援

市民避難訓練を実施(市内北東地域)

地区防災会および自主防災会の活動などを支援

各避難所の運営マニュアルなどの作成を促進

「業務継続計画(BCP)」や「受援計画」に基づく
図上訓練実施など、職員の災害対応能力を強化

良好な環境の形成

**エネルギーセンターの
取り組みを推進**

(第三工場の高効率なごみ焼却発電、第一工場の解体と跡地を利用したリサイクル施設の整備)



エネルギーセンター第三工場

エコハウス補助金により創エネ・省エネ機器の設置を支援

**安満遺跡公園の全面開園
(令和3年3月)に向け、
整備を推進**

(公園・歴史拠点施設の整備、オープニングイベントの開催)



安満遺跡公園歴史拠点施設(イメージ)

高槻駅緑町線の整備を推進

(未整備区間の工事、JR高槻駅から八丁西町交差点までの北側歩道を拡幅・美装化)

新 通学路などの交差点における安全対策を実施

新 水道部庁舎の耐震改修に向け、基本設計を実施

芥川緑地プール跡地に、関西最大級の健康遊具数を備えた公園整備を推進(実施設計)

富田地区のまちづくり基本構想策定に着手

富田芝生線の整備を完了

富寿栄住宅建て替え事業のPFI事業者を選定

高槻インターチェンジ周辺の公共施設整備などを行う土地区画整理組合を支援

檜尾川以東の新駅設置と新たな市街地形成の検討を深度化

次期「都市計画マスタープラン」を策定

大手八幡線しろあつなどのバリアフリー化・無電柱化を推進
(高槻城跡公園 芸術文化劇場の周辺道路)

都市機能の充実



整備が進む富田芝生線

新は新規施策、拡は拡充施策

健康・福祉の充実

新「手話言語条例」を制定し、
基本理念に基づく施策を推進
(手話、ろう者に対する理解、手話の普及促進)

拡 介護予防のさらなる普及
啓発
(新たな介護予防体操の活用など)

市営バス高齢者無料乗車制度を見直し
(令和3年4月から)

大阪府三島救命救急センターの
大阪医科大学附属病院への移転に向けた取り組みを推進

高槻島本夜間休日応急診療所の
弁天駐車場敷地への移転に向けた検討を実施

がんの早期発見・早期治療に向け、
各種無料検診や効果的な個別受診勧奨を実施



窓口での手話通訳



効果的な行財政運営

「第6次総合計画」、次期
「まち・ひと・しごと創
生総合戦略」を策定

新 市税と国民健康保険
料のキャッシュレス決済導
入に向けた取り組みを推
進

戦略的かつ効果的な定住促進プ
ロモーションを実施

森林の災害復旧事業を推進

地産地消の推進に向け、地元産農産物の安定した生産を支援
次代を担う新規就農者の経営確立を支援
市外企業の誘致と市内企業の定着を促進

大阪・関西万博の開催を見据え、観光振興を強化

新「文化財保存活用地域計画」策定に向け
取り組みを推進

市内の歴史遺産などを活用し、
本市の魅力在全国に発信

芥川山城跡の国史跡指定に向けた取り組みを推進



主郭(本丸)

芥川山城跡(航空全景)

産業の振興

子育て・教育環境の充実

「認定こども園配置計画」を推進

- ・市立認定こども園の運営を新たに開始
(五領認定こども園、三箇牧認定こども園)
- ・幼稚園3施設、保育所2施設を民営化
(引継保育の実施、施設の建て替え支援)

新 送迎保育ステーション事業の 実施に向けた取り組みを推進

民間学童保育室の設置を促進

拡 子ども医療費助成の対象年齢を 18歳までに拡大

新 宿泊型の産後ケア事業を実施 (子育て世代包括支援センター事業)

拡 要保護児童などへの包括的・継続的な 支援を強化

(子育て総合支援センターに「子ども家庭総合支援拠
点」としての機能を整備)

第四中学校区などで施設一体型小中一貫校の設置に向けて検討

英語教育を充実

(新学習指導要領に基づく小学5・6年生の外国語科・小学3・4年生の外国語活動を実施)

新「統合型校務支援システム」の導入により教員が児童生徒と 向き合う時間を確保

新 児童生徒1人1台の端末整備に向けた取り組みを推進

次期「教育振興基本計画」を策定



子どもの健やかな成長を見守る



「高槻^{しろあと}城跡公園 芸術文化劇場 南館」の整備を推進
(建設工事、指定管理者の選定など)

次期「文化振興ビジョン」を策定

将棋文化を振興

(タイトル戦開催、子ども将棋教室の運営支援など)

総合スポーツセンター総合体育館の中体育室に空調機器を設置
コミュニティ市民会議や32地区コミュニティのまちづくり活動や
防災活動を支援

市民生活の充実

高槻城跡公園 芸術文化劇場
南館イメージ



第69期大阪王将杯王将戦

新
は新規施策、
拡
は拡充施策